種名	**イ　ソ　シ　ギ** Tringa hypoleucos
分類	チドリ目　シギ科
特徴	飛ぶと白い翼帯が目立つ、尾をよく振る小形のシギ類。ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯で広く繁殖する種で、日本では北海道、本州。九州で繁殖し、北方ほど繁殖例が多い。冬期には、北方のものは暖地へ移動する。
生活	繁殖期には川や湖沼に棲息し、岸辺の草地で営巣する。低木や草の根元などを浅く掘り凹めて巣とし、枯れ草などを敷いて4卵を産む。非繁殖期には川や湖沼のほか、干潟や岩礁など海辺にも現れる。四季を通じて水辺を活発に歩きながら採餌し、水面や泥の表面をついばんで昆虫類などを捕える。
声	飛び立つ時や飛翔中には「チーリーリーリー」とか「ツーチーチーチー」という、きわめて細い声で鳴く。繁殖期には、やはり細い声だが「ツーチリリーツーチリリー」と少し変化をつけた声で鳴く。
見分け方	上面の黒褐色と下面の白色の対照が鮮やかで腹部の白色部が翼角の所で翼の上に食い込んでいるのが特徴である。くちばしは短めで、足も短く黄褐色。

時期												
寒地	(月)	―	―	―	4	5	6	7	8	9	10	―	―
暖地	(月)	1	2	3	4	―	―	―	―	―	10	11	12

その他	全長 (L) 20cm　翼開長 (W) 29cm

参考文献：山渓カラー名鑑　日本の野鳥